

くらしのパートナー

■発行/文京区消費生活センター 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
文京シビックセンター地下2階 TEL 5803-1105 FAX 5803-1342

もくじ
自転車シェアリングを楽しく利用するために…… 1
「冬に家庭内で起きる製品事故」…… 2
消費生活センターからのお知らせ…… 4

自転車シェアリングを 楽しく利用するために

～事前の確認と余裕ある計画を!～



事例1 文京区の自転車シェアリングに登録し、区内で自転車を借りて練馬区の駐輪場(ポート)に返却しようとしたら、できなかった。自転車もポートも同じなのになぜか。

事例2 利用中に自転車の充電が切れて走れなくなった。車体が重く最寄りの駐輪場まで運ぶのも困難だった。運営者に電話をすると、運搬費と延長料金を払うよう言われた。充電が不十分な状態で貸し出しをしたのは問題ではないか。

事例3 サイクリングを終えてポートに返却しようとしたら、駐輪ラックが満車だった。仕方なく返却手続きをせずに、そのまま帰宅したら延長料金を請求された。払いたくない。

「自転車シェアリング」と呼ばれる有料自転車レンタルサービスが広がっています。初めに会員登録をすると、その後は専用の無人駐輪場(ポート)から簡単に自転車を借りられます。別のポートにも返却できるのが特徴で、環境に負荷をかけずに移動できる便利なサービスですが相談も入っています。

事例1 文京区が実施している自転車シェアリングサービスでは、千代田区、中央区等の10区で相

互利用を行っています。練馬区も同じサービスを実施していますが、現在、相互利用は行っていません。また、10区内でもポートによって利用できる時間が違い、休止や移転もあります。利用する前によく調べておきましょう。

事例2 別のポートにも返却できる利便性の反面、他の人が利用したばかりの自転車が置いてある可能性があります。バッテリー残量や故障、破損の有無など自転車の状態を点検してから利用しましょう。

事例3 返却手続きが終了するまでは利用中となり、料金を払う義務があります。駐輪ラックが満車でもポートから出る電波に自転車を近づけると返却手続きができることもあります。手続きができない時はすぐに運営会社に連絡して下さい。

新しいサービスを利用する場合は、まず利用規約や利用方法をよく調べるのが大切です。また、システム障害など思わぬトラブルが発生する可能性もあります。時間の余裕を持ち、上手にサイクリングを楽しみましょう。

文京区自転車シェアリング運営事務局
株式会社 ドコモ・バイクシェア
☎0120-116-819 <http://docomo-cycle.jp/bunkyo/>

困ったときは消費生活センターへ
TEL 5803-1106

「冬に家庭内で起きる製品事故」

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 鶴田 克二

これから冬本番となりますが、家庭内で起きる製品事故のうち冬場に起きやすい事故があります。今回は、誤った使用方法により起きた、ガスこんろでの着衣着火やカセットボンベの爆発事故などの事故事例について紹介します。正しく製品を使うことで、事故を未然に防ぎましょう。

● ガスこんろによる事故事例の紹介

○ ガスこんろによる着衣着火の事故事例



やかんで湯を沸かしていたところ、やかんを移動させようとした際に、こんろの火が衣服に着火したという火災事故がありました。

使用者がやかんを動かそうと手を伸ばした際に、ガスこんろに近づき過ぎたため、着火したものと考えられます。



ガスこんろによる着衣着火の事故を防ぐには

○ 衣服への着火に注意する。

- ・ 調理中は、マフラーなどは外し、すそや袖が広がっている服は炎に接しないよう特に注意する。
- ・ 火に直接当たっていなくても、火から放射される熱により衣類等に火が付くので、注意が必要。
- ・ こんろの上の調理器具を移動させる際は、火を消してから行う。
- ・ 表面に起毛加工が施してある衣類等は火が着いた場合、表面フラッシュ現象により瞬時に燃え広がることがあるので特に注意が必要。また、火が接しても着火しにくい防災品のエプロンやアームカバーを使うことで、調理中の着衣着火の防止に繋がります。

● カセットボンベ及びカセットこんろによる事故事例の紹介

○ カセットボンベの爆発事故の事例



カセットボンベを石油ファンヒーターの前に置いていたところ、爆発する事故がありました。

カセットボンベの残量が少なかったため、石油ファンヒーターで温めようと温風吹出口直前に置いていたため、内圧が上昇し、ボンベが爆発したものと考えられます。



○ カセットこんろの焼損事故の事例

カセットこんろを使用中、容器カバーが焼損する事故がありました。

鍋を容器カバーに接触するような状態で使用したため、容器カバーの中央部が高温となって焦げ付きを生じたものと考えられます。

カセットボンベ及びカセットこんろの事故を防ぐには

○ストーブなど熱源の近くに置かない。

・カセットボンベやスプレー缶などは、加熱されると、内圧が上昇して破裂・爆発し、噴き出た可燃性ガスに引火するため、ストーブやガスこんろなど熱源の近くに置くなどの、カセットボンベが異常に熱くなるような使い方はしない。

○適切な大きさの鍋を使用する。

・カセットこんろを覆うようなおでん用などの大きな鍋や鉄板を使うと容器カバー部分が高温になり、焼損するおそれがあることから、適切な大きさの鍋を使用する。

○ ゆたんぼによる事故事例の紹介

○ゆたんぼによる低温やけどの事故の事例



ゆたんぼで低温やけどを負った事故がありました。

長時間ゆたんぼを肌に接触させた状態で使用したため低温やけどを負ったと考えられます。



ゆたんぼによる低温やけどの事故を防ぐには

○長時間使用しない。

・同じ部位を長時間温めない。また、違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止する。
・厚手のタオルや専用カバーなどで包んでいても低温やけどを負うことがあることから、湯たんぼは、就寝前に布団の中に入れて、暖まったら出すようにする。

○電子レンジ加熱式ゆたんぼによるやけどの事故の事例



電子レンジ加熱式のゆたんぼを加熱して取り出したところ、破裂してやけどを負った事故がありました。

表示の時間を超えて加熱したため、袋の内圧が高まって破裂し、高温の内容物が飛び散ったものと考えられます。

電子レンジ加熱式ゆたんぼによるやけどの事故を防ぐには

○長時間加熱しない。

・取り扱い表示どおりに電子レンジ出力(ワット数)と時間は必ず守り、オート(自動)加熱機能は使用しない。
・袋が膨張、あるいは内容物が漏れ出た場合、電子レンジのスイッチを切り、十分に時間を置いて冷めたことを確認してから取り出す。

今回、紹介させて頂いた事故事例は NITE で紹介している事故事例の一部です。NITE のホームページでは、様々な製品の事故に関する再現映像や事故防止の注意喚起を掲載していますので是非ご覧ください。

またツイッターやメールマガジンといった形式でも製品安全に関する情報を配信しておりますので、ぜひホームページをご確認ください。



(参考)NITE の HP の QR コード

文京区消費者グループ活動事業補助金をご利用ください。

文京区では、消費者グループが行う消費者問題に関する事業の経費の一部を補助しています。
(助成を受けたグループには、啓発事業に協力していただいています。)

- 対象者** 区内在住者・在勤者及び在学者で構成する10人以上のグループ
- 対象事業** 消費者問題に関する講演会・学習会・調査研究会
例) 講演会「キャッシュレス決済とは ～消費者の疑問に答えます～」
学習会「あなたの周りの消費者問題 ～トラブルを回避するために～」 等
- 対象経費** 事業に係る講師謝礼の一部
- 申請方法** 申請書を事業実施予定日の1月前までに提出
▷申請書配布及び提出先 文京区消費生活センター

その他交付要件がありますので、詳細をお知りになりたい方は文京区消費生活センターまでお問い合わせください。

文京博覧会(ぶんぱく)2019のご案内

区内の産業団体や店舗が出展するイベントです。
以下の消費者団体も「消費生活及び消費者問題への関心を高める展示・販売」を行います。ぜひご来場ください。

- 開催日時** 11月15日(金)午前10時～午後6時 / 11月16日(土)午前10時～午後5時
- 開催場所** 文京シビックセンター1階・地下2階 他
- 消費者団体ブース**

団体名	出展日時	出展場所
文京区消費者の会	15日(金)及び16日(土)	ギャラリーシビック (文京シビックセンター1階)
東都生協文京区連絡会	15日(金)	
消費生活推進員の会	16日(土)	

文京区消費生活センター

〒112-8555
東京都文京区春日1-16-21
文京シビックセンター地下2階
TEL 5803-1105 / FAX 5803-1342
相談専用 TEL 5803-1106
受付時間 9:30～16:00 (月～金 ※祝日・年末年始を除く)

文京シビックセンター 最寄駅

- 地下鉄
東京メトロ丸ノ内線・南北線
⇒後樂園 下車
都営三田線・大江戸線
⇒春日 下車
- 都営バス
⇒春日駅前 下車
- 文京区コミュニティバスB-ぐる
⇒文京シビックセンター下車